

平成 30 年度 第 2 回桑名市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）

開催場所：桑名市役所 4 階 中会議室

出席者：13 名

1. 協議事項

①会長及び副会長の選出

②コミュニティバスの役割について

平成 30 年度「桑名市民満足度調査」結果抜粋【資料 1】

コミュニティバスの役割について【資料 2】

2. 報告事項

①桑名市デマンド乗合タクシー試行状況について【資料 3】

3. 質疑応答及び要旨

（協議事項）

①会長及び副会長の選出

会長に岩崎恭典委員（四日市大学学長・新任）を、副会長に藤原隆委員（桑名市自治会連合会長・再任）を選出した。

②コミュニティバスの役割について

平成 30 年度「桑名市民満足度調査」結果抜粋【資料 1】について、及びコミュニティバスの役割について【資料 2】

（委員からの主な意見）

- ・長島地区はコミュニティバスの本数が非常に少なく、交通空白地帯とほとんど変わらない。コミュニティバスの役割を果たすということを考えると、少しお金を出してでもとくに長島駅まで或いは通勤時間帯の本数を増やしてほしい。
- ・多度地区の新しい住宅団地内にもコミュニティバスを走らせてほしい。
- ・多度地区のコミュニティバスは 10 人乗りであるが、時間帯によっては満車になることがあるため、利用状況に応じた運行を検討してほしい。
- ・コミュニティバスを民間路線バスと重複している場所に走らせるのは問題があり、交通空白地帯を埋めるよう効率よく運行することが必要。コミュニティバスは、鉄道及び民間路線バスの補完をするという性格を強める必要がある。

- ・民間路線バスとコミュニティバスとの重複は互いの経営にマイナスとなる。コミュニティバスは民間路線バスを補完する形で、お互いが共存できるような関係が必要。
- ・多度・長島の総合支所が地区市民センターになり、本庁に行く機会が増え、さらに桑名市総合医療センターが開院したことから、直接、多度地区・長島地区から市役所や医療センターに乗り入れできないのかという声もある。
しかし、予算に限りがあり路線数を増やすのは困難であり、予算の中で効率よく運行したい。
- ・多度地区・長島地区についてはコミュニティバスの充実が望まれる。一方で民間路線バスとの重複は是正する必要があることから、予算に限りがある中で、現在走っている桑名地区のルートをかなり間引くことも考える必要がある。
- ・コミュニティバス事業は、事業費の 8 割を国からの交付税で手当てされており、国の支援があるうちは継続していきたい。その中で効率的な運行がおこなえるよう見直しをおこないたい。
- ・見直しにあたっては、実際に乗っている人が何を目的に乗っているのか調査をした上で、ルート設定を考えていかなければいけない。病院や商業施設などの公共的な施設が中心のルート設定が望ましいと考える。
- ・コミュニティバスの見直しには、地域公共交通会議の場で多度・長島の方や交通弱者の方など多くの利用者の意見を聞きたい。そのため、地域公共交通会議の委員の数を増員したいと考えている。
- ・公共交通の維持は行政だけで行うのは困難であり、市民も公共交通を自分たちで守っていこうという意識が必要。行政と市民が一緒になって公共交通を維持できるような仕組みが求められるなかで、地域公共交通会議の委員数を増やして、より多くの市民の意見を聞くことは望ましい。

(報告事項)

- ①桑名市デマンド乗合タクシー試行状況について【資料 3】